

2019年7月24日（水）

## 6年CDE組 親子で美術館へ行こう ～国立西洋美術館～

昨日6年CDE組の親子美術館鑑賞活動が国立西洋美術館で行われました。親子で5グループに分かれ、ボランティアスタッフさんと共にギャラリートークをしながら、それぞれ3作品の鑑賞活動を行いました。今回とり上げたのはヘーム《果物籠のある静物》、シニャック《サン・トロペの港》、ヨルダース《ソドムを去るロトとその家族》、フォス《最後の晩餐》、ポロック《ナンバー8, 1951 黒い流れ》、テニールス《聖アントニウスの誘惑》、カペ《自画像》、ミロ《絵画》の絵画8点と、ロダン《オルフェウス》・《青銅時代》、ブールデル《ヘラクラス》の彫刻3点の計11作品です。

「果物籠のある静物」の鑑賞ではパウチした果物画像を籠にレイアウトするアクティビティーを行ったり、印象派の作品では遠近での見え方の違いや筆のタッチに驚いたり、発見したこと感じたことを自由に発言したりしました。彫刻作品の前では同じポーズをとって感想を述べ合うなどして作品を味わい、鑑賞を楽しみました。

自由に作品を鑑賞する時間では、多くの作品から「お気に入りの作品1点」を探してスケッチをしたり、ロダン人形を使って彫刻と同じポーズをとらせながら鑑賞しました。

作品の味わい方を学び、自分なりの見方で自由に作品を「みる」ことを学んだこの美術館活動をきっかけに、またぜひ美術館へ行ってほしいと思います。



